

大阪大学法学部で講義「損害保険の実務と法」を開講

～損害保険やリスク、さらには社会の仕組みの一端を学ぶ講座を展開～

日本損害保険協会近畿支部(委員長:山口 和寿・損害保険ジャパン株式会社常務執行役員)では、大阪大学法学部の秋・冬学期に、連続講座「損害保険の実務と法」を開講いたしました。

本講座は9年目を迎える単位認定講座として、今年度はリモート参加が可能な形式を継続しつつ、講義室での聴講を可とするカリキュラムのもと、3、4年生144名と大学院生1名が受講いたしました。

計14回の講義では、損害保険の仕組みや役割、損害保険に関する関係法規、社会におけるインフラとしての役割、保険販売の現状、損害保険業界の課題など、各社の最先端な取組み等にも触れながら学習できるよう構成し、損害保険会社の社員、業界OB、損保協会職員が講師を務めました。また、損害保険以外の幅広い金融経済への理解を深めてもらうため、今秋・冬学期の講座では大阪府金融広報委員会からも講師を招聘しました。

講義内容の全容は下表のとおりです。うち、第4回～第8回は「保険商品」に関する講義を行い、「くるまの保険」では、三井住友海上社から自賠責保険・自動車保険の商品内容について、「すまいの保険(火災保険)」では、損保ジャパン社から自然災害リスク全般の概要について、「すまいの保険(地震保険)」では、日本地震再保険社から地震保険の仕組みや役割について、「からだの保険」では、あいおいニッセイ同和損保社から傷害保険と医療保険の特色についてそれぞれ解説いただきました。また、「企業分野の保険」では、東京海上日動社から産業のインフラを支える最新商品の概要と開発のプロセス等について解説いただきました。さらに第9回「損害保険会社の業務」では、三井住友海上社から損害保険会社の業務の全容について、第10回「損害調査業務」では、損保ジャパン社から保険犯罪防止への取り組み等について解説いただきました。最終講義の第14回「金融経済情報について」では、大阪府金融広報委員会から身に付けてほしい金融知識や日本銀行の金融政策について説明いただきました。

学生からは、「損害保険のサービスや内容はとても多様化していることが分かった。また、それに伴って様々な法規制が整備されているので法学部生として、興味を持つことができた。」「地震保険はとても重要な働きをしていることは認識していたが、地震保険の具体的内容、制度の沿革など初めて知ったことが多かった。」「経済の仕組みについて改めて勉強する事が出来てとても良かった。」などの感想が寄せられました。

損保協会近畿支部は、引き続き、損害保険リテラシーの向上に資する取り組みを推進してまいります。

<講義概要>

	講義内容	講師
第1回	ガイダンス・損害保険業界の現状	損保協会 近畿支部 田中 事務局長
第2回	保険の仕組み、役割	損保協会 近畿支部 村井 主査
第3回	保険に関する法律(保険業法・保険法)	損保協会 竹井 講師
第4回	くるまの保険(自賠責保険・自動車保険)	三井住友海上社 関西総務部 人事総務チーム 中野 課長代理
第5回	すまいの保険(火災保険)	損保ジャパン社 関西火災新種保険金サービス部 坂口リーダー
第6回	すまいの保険(地震保険)	日本地震再保険社 業務部業務課 片岡社員
第7回	からだの保険(傷害保険・医療保険・海外旅行保険)	あいおいニッセイ同和損保社 大阪支店地域戦略室 小雀 室長・大阪第一支社 清水社員
第8回	企業分野の保険	東京海上日動社 企業商品業務部 関西グループ 齊藤 課長代理
第9回	損害保険会社の業務	三井住友海上社 関西総務部 人事総務チーム 野添 課長
第10回	損害調査業務	損保ジャパン社 本店自動車専門保険金サービス部 大阪訴訟・求償・自賠責課 東 課長代理
第11回	保険募集	損保協会 栗山 シニアフェロー
第12回	苦情・紛争解決手続	損保協会 近畿支部 村井 主査
第13回	再保険業務	損保協会 小島 講師
第14回	金融経済情報について	大阪府金融広報委員会 明知 常任幹事事務局長
第15回	試験	損保協会 近畿支部 村井 主査